

学校給食費無償化に関する意向調査について

| | |
|----------|--|
| 意向調査の名称 | 学校給食に関するアンケート調査 |
| 調査の目的 | 小・中学生を育てる保護者の負担軽減と本市の未来を担う子どもたちの食環境を社会全体で支える取組の一環として準備を進めている「学校給食費無償化」について、市民の皆様の意向等を把握するため調査を実施する。 |
| 調査の方法 | 郵送配布、郵送及びインターネットからの回答 |
| 調査対象者 | 性別、年齢及び居住地区ごとの構成比をもとに、無作為で抽出した18歳以上の市民4,500人 |
| 実施期間 | 令和5年7月7日（金）から7月23日（日）まで |
| 回答者数と回収率 | 1,590人（回収率：35.3%） なお、18歳以上の市民約19万人を対象としたアンケートの場合、統計学上、信頼度95.4%、標本誤差3%の必要なサンプル数は約1,100人となっています。 |
| 担当課 | 学校給食課 |
| 結果公開日 | 令和5年8月31日（木） |
| 調査項目 | <ul style="list-style-type: none">・回答者の状況について・学校給食において優先すべきものについて・学校給食への地場農産物の取入れ拡充について・小・中学生を育てるに当たり、経済的に負担と感ずるものについて・小・中学生を育てる世帯の負担を軽減するため必要な支援について・小・中学校給食費無償化について |
| 調査結果の概要 | 別添のとおり |

学校給食に関するアンケート調査 調査結果について

調査結果の見方

- ・ 問1（回答者の状況）は回収数（1,590件）を、問2以降はその質問の回答者数を基数として回答の比率（%）を算出しました。
- ・ 構成比（%）は、小数点以下第2位を四捨五入していることから、数値の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・ 選択肢の表記は、語句を短縮、簡略化している場合があります。

1 回答者の状況について

（1）性別について

男性・女性別の配布数や回答数、回収率及び回答数の構成比は下表のとおりで、女性の回収率が高くなっています。

| 回答 | 発送数 | 回答数 | 回収率 | 構成比 |
|--------|-------|-----|-------|-------|
| 男性 | 2,320 | 620 | 26.7% | 39.0% |
| 女性 | 2,180 | 941 | 43.2% | 59.2% |
| 答えたくない | | 19 | | 1.2% |
| 無回答 | | 10 | | 0.6% |

（2）年代について

各年齢層における配布数や回答数、回収率及び回答数の構成比は下表のとおりで、70代が最も回答数、回収率及び構成比が高くなっています。

| 回答 | 発送数 | 回答数 | 回収率 | 構成比 |
|--------|-----|-----|-------|-------|
| 20歳未満 | 82 | 14 | 17.1% | 0.9% |
| 20～29歳 | 613 | 126 | 20.6% | 7.9% |
| 30～39歳 | 590 | 173 | 29.3% | 10.9% |
| 40～49歳 | 746 | 228 | 30.6% | 14.3% |
| 50～59歳 | 773 | 253 | 32.7% | 15.9% |
| 60～69歳 | 603 | 290 | 48.1% | 18.2% |
| 70～79歳 | 651 | 326 | 50.1% | 20.5% |
| 80歳以上 | 442 | 171 | 38.7% | 10.8% |
| 無回答 | | 9 | | 0.6% |

(3) 家族構成について

家族構成別の回答数及び回答数の構成比は下表のとおりでした。

| 回答 | 回答数 | 構成比 |
|----------------|-----|-------|
| 夫婦 | 508 | 31.9% |
| 親子（小・中学生がいる） | 134 | 8.4% |
| 親子（小・中学生はいない） | 383 | 24.1% |
| 三世代（小・中学生がいる） | 40 | 2.5% |
| 三世代（小・中学生はいない） | 70 | 4.4% |
| 単身 | 361 | 22.7% |
| その他 | 87 | 5.5% |
| 無回答 | 7 | 0.4% |

(4) お住まいの地区について

各地域における配布数や回答数、回収率及び回答数の構成比は次のとおりです。回収率をみると、「森の里地区」が 52.3 %と最も高く、続いて、「玉川地区」が 48.5%となっています。

| 回答 | 発送数 | 回答数 | 回収率 | 構成比 |
|------|-----|-----|-------|-------|
| 厚木北 | 516 | 186 | 36.0% | 11.7% |
| 厚木南 | 234 | 98 | 41.9% | 6.2% |
| 依知北 | 380 | 102 | 26.8% | 6.4% |
| 依知南 | 246 | 79 | 32.1% | 5.0% |
| 睦合北 | 221 | 73 | 33.0% | 4.6% |
| 睦合南 | 399 | 145 | 36.3% | 9.1% |
| 睦合西 | 180 | 61 | 33.9% | 3.8% |
| 荻野 | 503 | 178 | 35.4% | 11.2% |
| 小鮎 | 284 | 95 | 33.5% | 6.0% |
| 南毛利 | 761 | 278 | 36.5% | 17.5% |
| 南毛利南 | 220 | 64 | 29.1% | 4.0% |
| 玉川 | 68 | 33 | 48.5% | 2.1% |
| 相川 | 271 | 83 | 30.6% | 5.2% |
| 緑ヶ丘 | 89 | 38 | 42.7% | 2.4% |
| 森の里 | 128 | 67 | 52.3% | 4.2% |
| 無回答 | | 10 | | 0.6% |

2 学校給食において優先すべきものについて **複数回答** (n=4,484)

学校給食において、優先すべきものは何だと思えますか、との問いに対し最も多かったのは「栄養バランス」(27.3%)、次いで「衛生管理基準の遵守」(25.4%)となっており、この2つで5割を超えています。その次が「安定的な給食提供」(11.7%)となっています。

| 回答 | 回答数 | 構成比 |
|-----------|-------|-------|
| 衛生管理基準の遵守 | 1,139 | 25.4% |
| 栄養バランス | 1,225 | 27.3% |
| アレルギー対応 | 517 | 11.5% |
| 残菜の少なさ | 246 | 5.5% |
| 食育の充実 | 426 | 9.5% |
| 地場農産物の使用 | 407 | 9.1% |
| 安定的な給食提供 | 524 | 11.7% |

3 学校給食への地場農産物の取入れ拡充について (n=1,583)

学校給食への地場農産物取入れ拡充について、「更に拡充した方が良い」が84.7%を占め、多くの市民の皆様が学校給食への地場農産物取入れを拡充した方が良いと考えていることがわかりました。

| 回答 | 回答数 | 構成比 |
|-------------------------------------|-----|-------|
| 地場農産物に触れることは食育の機会にもなるため、更に拡充した方が良い。 | 572 | 36.1% |
| 地産地消の推進は地域の活性化につながるため、更に拡充した方が良い。 | 769 | 48.6% |
| 少しでも安価な食材を使用すべきなので、拡充する必要はない。 | 68 | 4.3% |
| 幅広い地域の食材を使用すべきなので、拡充する必要はない。 | 58 | 3.7% |
| どちらともいえない。 | 116 | 7.3% |

4 小・中学生を育てるに当たり、経済的に負担と感ずるものについて 複数回答
(n=3, 437)

小・中学生を育てるに当たり、経済的に負担と感ずるものは何だと思ひますか、との問いに対し、「給食費」と答えた割合は 20.3%と他の選択肢より少なかったもののほぼ同じような割合となっており、小・中学生を育てる世帯が経済的負担に感ずる経費の中で突出したものはなく、選択肢とした4つは小・中学生を育てる世帯が経済的負担に感ずる経費であることがわかりました。

| 回答 | 回答数 | 構成比 |
|------------------|-----|-------|
| 給食費 | 699 | 20.3% |
| 学用品費 | 859 | 25.0% |
| 部活動にかかる費用 | 806 | 23.5% |
| 学費（私立小・中学校の授業料等） | 766 | 22.3% |
| その他 | 307 | 8.9% |

その他の内訳

| | |
|---------------------|-----|
| 塾、習い事等 | 166 |
| 衣服、生活費、その他の子どもに係る経費 | 26 |
| 制服、ジャージ等 | 15 |
| 遠足、修学旅行代 | 16 |
| 負担と感ずるものはない | 10 |
| 入学金等（授業料以外の学校に係る経費） | 4 |
| スマホ、通信費等 | 4 |
| 放課後児童クラブの費用 | 2 |
| その他（わからない、すべてなど） | 64 |

5 小・中学生を育てる世帯の負担を軽減するため必要な支援について (n=1,555)

小・中学生を育てる世帯の負担を軽減するためには、どのような支援が必要だと思いますか。との問いに対し、「学校給食費の一部補助・無償化」と答えた割合は52.0%となっており、学校給食費の無償化又は一部補助が小・中学生を育てる世帯の負担軽減策として有効であると考えている方が多いことがわかりました。

| 回答 | 回答数 | 構成比 |
|----------------|-----|-------|
| 学校給食費の一部補助・無償化 | 809 | 52.0% |
| 学用品費の一部補助の拡充 | 258 | 16.6% |
| 児童手当の市独自の拡充 | 397 | 25.5% |
| その他 | 91 | 5.9% |

その他の内訳

| | |
|--------------------|----|
| 支援は不要 | 17 |
| 選択肢のうち複数のもの又は全部が必要 | 13 |
| 生活困窮者のみに支援すべき | 5 |
| 補助学習の充実 | 5 |
| 修学旅行代等の補助 | 3 |
| 塾、習い事等の費用の補助 | 3 |
| 学費の無償化・一部補助 | 3 |
| その他（わからないなど） | 42 |

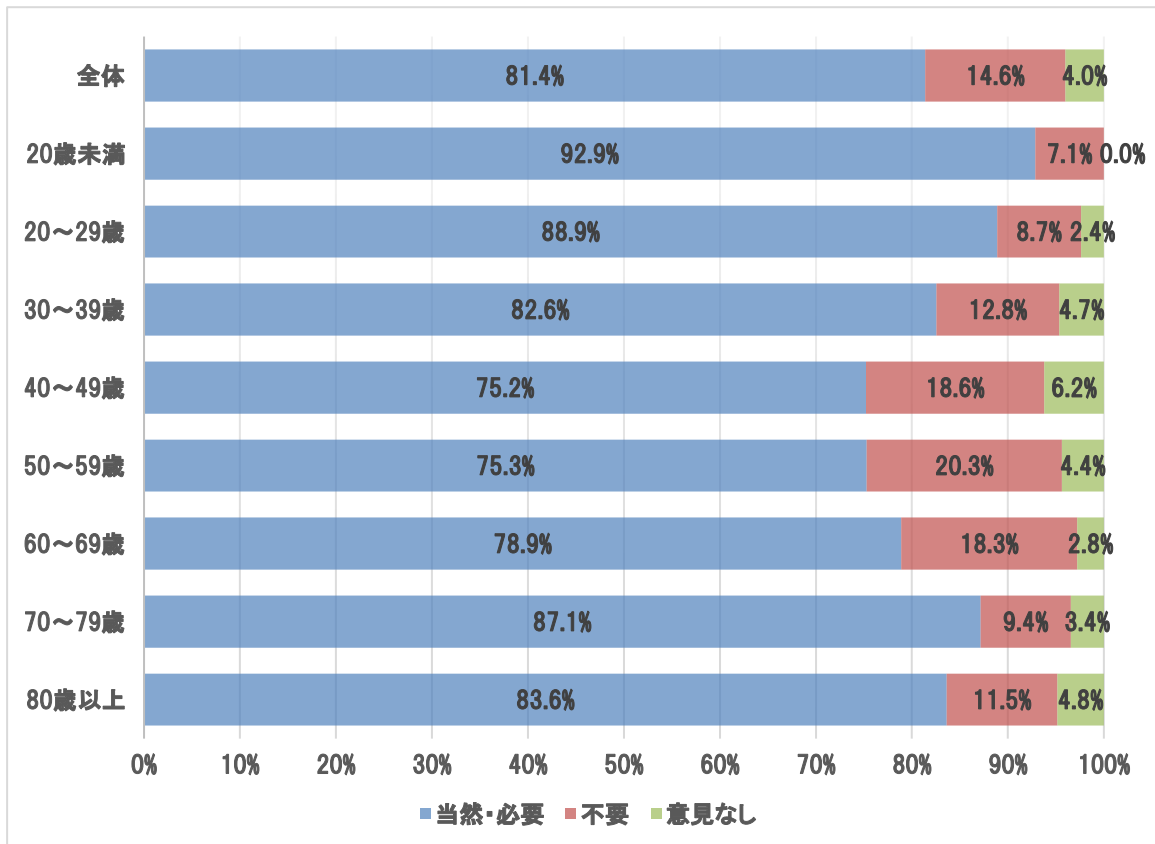
6 小・中学校給食費無償化について (n=1,570)

給食費無償化についてどう思うか、との問いに対して、「当然だと思う」又は「必要だと思う」と回答した方は合わせて81.4%と、給食費無償化を必要とする回答が大半を占めていました。

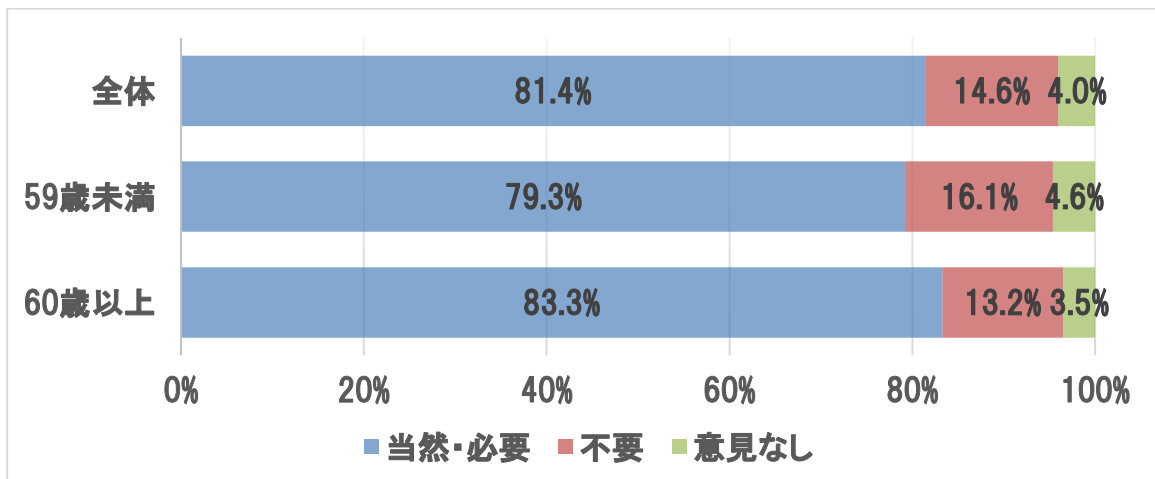
| 回答 | 回答数 | 構成比 |
|--|-----|-------|
| 子育ては社会全体で支えるべきなので、給食費無償化は当然だと思う。 | 512 | 32.6% |
| 食育の推進と地場農産物の取入れを拡充するため、給食費無償化は必要だと思う。 | 317 | 20.2% |
| 給食費無償化は必要だが、財源の確保に懸念を持っている。 | 449 | 28.6% |
| 子どもが食べる給食なので、費用は保護者が負担すべきだと思う（無償化は不要）。 | 229 | 14.6% |
| 給食費無償化に関して特に意見がない。 | 63 | 4.0% |

この項目については、回答者の年代別と家族構成別に集計を行いました。

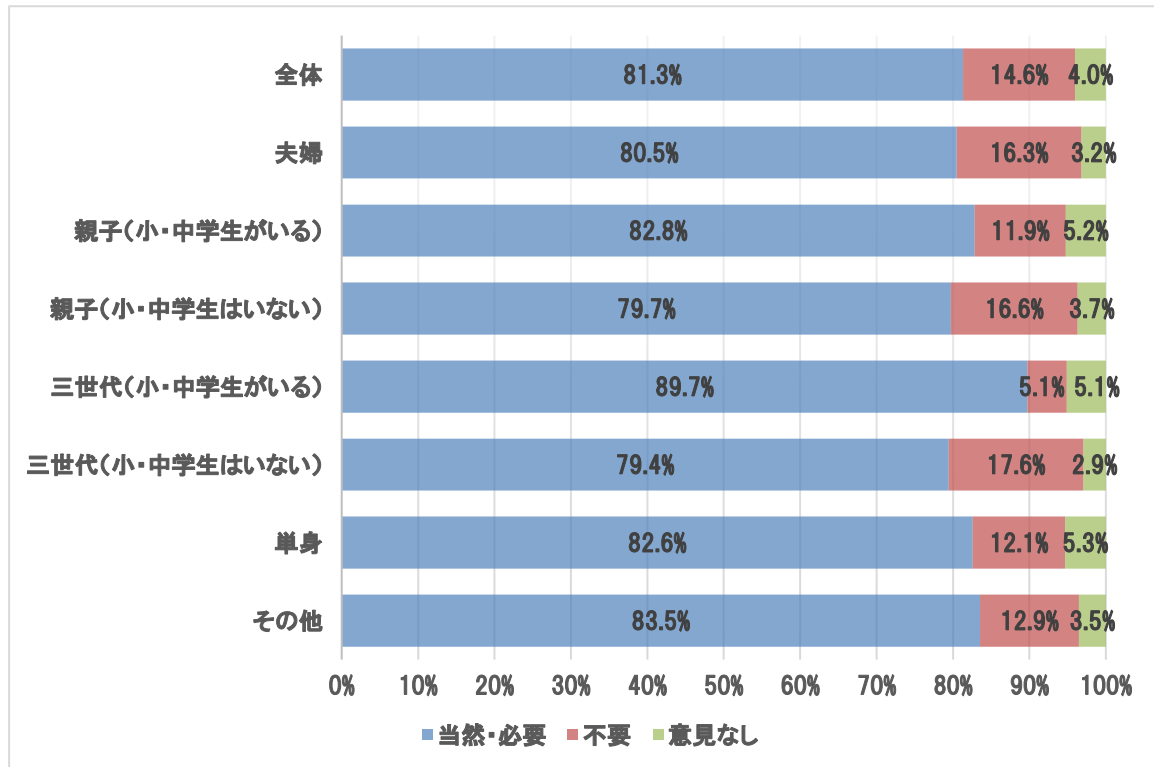
回答者年代別に集計を行ったところ、給食費無償化を「当然」「必要」と考えている割合が最も多いのは「20歳未満」の方、逆に「不要」と回答した割合が最も多かったのは「50～59歳」の方でした。



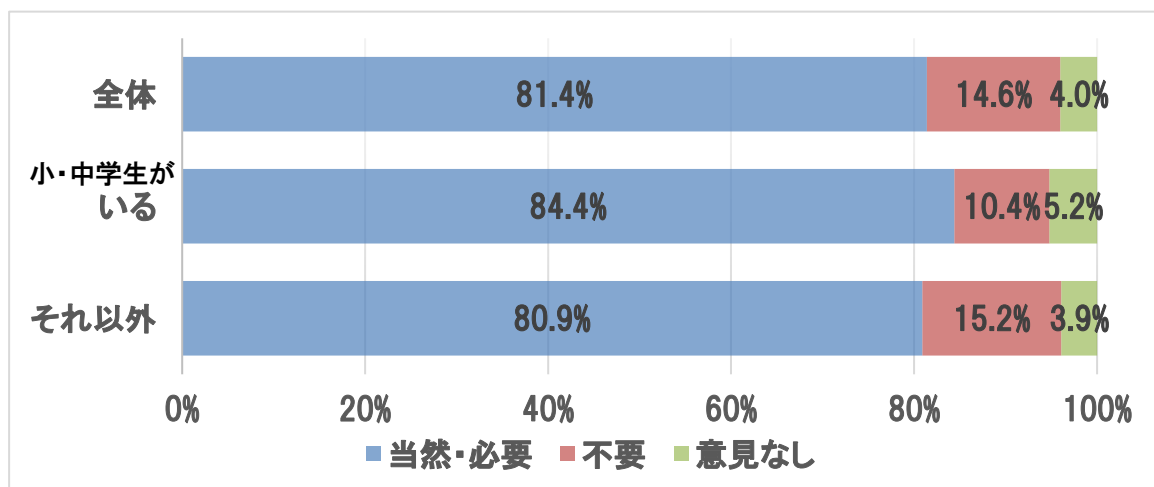
なお、「59歳未満」と「60歳以上」で分けて集計したところ、下表のとおり、「60歳以上」の方が「当然」又は「必要」と回答した割合が多くなりました。



回答者の家族構成別で集計を行ったところ、給食費無償化を「当然」又は「必要」と考えている割合が最も多かったのは「三世代（小・中学生がいる）」の回答者の方、逆に「不要」と回答した割合が最も多かったのは「三世代（小・中学生はいない）」の回答者の方でした。



なお、小・中学生がいると回答した方（「親子（小・中学生がいる）」、「三世代（小・中学生がいる）」）とそれ以外の回答の方で分けて集計したところ、小・中学生がいると回答した家庭の方が「当然」又は「必要」と回答した割合は高かったものの、それ以外の方でも「当然」又は「必要」と回答した割合は8割を超えました。



7 調査への意見（自由記述）（1回答者から複数の意見あり）

調査への意見は393件（記入者344人）の記入があり、内容の分類としては下表のとおりとなっています。

| 御意見の概要 | 御意見の数 |
|------------------------------|-------|
| 給食費無償化に関する意見（賛成や反対の理由など） | 132 |
| その他給食に関する意見（献立、提供方法、実施回数など） | 66 |
| 子育て支援制度に関する意見（子育て支援制度の充実など） | 52 |
| アンケートに関する意見（子育て世帯を対象とすべきなど） | 49 |
| その他市政等への意見（高齢者支援制度の充実など） | 42 |
| 地場農産物の取入れ拡充に関する意見（推進すべき理由など） | 13 |
| 子育て世帯の負担軽減策について（制服、修学旅行代など） | 12 |
| 教育に関する意見（補助学習の充実を求めるものなど） | 7 |
| 給食において優先すべきものについて（選択肢以外のもの） | 6 |
| 経済的に負担とを感じるものについて（高校、大学など） | 5 |
| その他 | 9 |

8 まとめ

給食費無償化についてどう思いますか。との問いに対して、「当然だと思う」又は「必要だと思う」と回答した方は合わせて81.4%と、多くの市民の皆様が学校給食費無償化は必要と考えていることがわかりました。

また、小・中学生を育てる世帯の負担を軽減するためには、どのような支援が必要だと思いますか。との問いに対し、「学校給食費の一部補助・無償化」と答えた割合は52.0%となっており、学校給食費の無償化が小・中学生を育てる世帯の負担軽減策として必要であると考えている方が多いことがわかりました。